

# COPDのお薬

## おもな治療薬・・・症状の重さや合併症などに応じて使い分ける

薬の役割	気管支の収縮を予防する薬		気管支の収縮を予防・拡張する薬	気管支を広げる薬	痰を出しやすくする薬			
薬の種類	短時間作用性抗コリン薬	長時間作用性抗コリン薬	長時間作用性抗コリン薬／長時間作用性β <sub>2</sub> 刺激薬配合剤	長時間作用性β <sub>2</sub> 刺激薬	喀痰調整薬			
効能	アセチルコリンの放出をブロックし、気管支の収縮をおさえる。		気管支の収縮をおさえ、交感神経を刺激して気管支を広げる。	交感神経を刺激して、気管支を広げる。12時間以上効果が持続する。	痰の成分を分解する、気道の分泌液を増加させるなどして痰を出しやすくする(気管支拡張薬との併用が基本)。			
用法	吸入	吸入	吸入	吸入	吸入	経口		
おもな副作用	口内乾燥、頭痛、吐き気、前立腺肥大による排尿困難など(一般的な使用量では全身性の副作用はほとんどない)。		口内乾燥、頭痛など。	心悸亢進、頭痛、吐き気など。	吐き気、嘔吐、食欲不振、発疹など。			
商品名	<b>■アトロベント</b>  アトロベント エロゾル20μg <b>■テルシガン</b>  テルシガン エロゾル100μg	<b>■スピリーバ</b>  スピリーバ吸入用カプセル18μg  スピリーバ2.5μgレスピマット60吸入 <b>■シープリ</b>  シープリ吸入用カプセル50μg	<b>■ウルティプロ</b>  ウルティプロ吸入用カプセル <b>■アノーロ</b>  アノーロエリプタフ吸入用	<b>■オーキ西斯</b>  オーキ西斯9μgタービュヘイラー28吸入・60吸入 <b>■オンプレス</b>  オンプレス吸入用カプセル150μg	<b>■ムコフィリン</b>  ムコフィリン吸入液20% <b>■ピソルボン</b>  ピソルボン吸入液0.2%	<b>■ピソルボン</b>  ピソルボン細粒2%  ピソルボン錠4mg  ピソルボンシロップ0.08% <b>■ムコダイン</b>  ムコダイン細粒50%	 ムコダイン錠250mg  ムコダイン錠500mg  ムコダインシロップ5%  ムコダインDS50% <b>■クリアナール</b>  クリアナール錠200mg  クリアナール錠15mg	 ムコソルバンDS3%  ムコソルバン内用液0.75%  ムコソルバンシロップ  ムコソルバン錠 <b>■ムコサール</b>  ムコサール4カプセル45mg
<b>使用目安 (『COPD診療のエッセンス 2014年版』をもとに作成)</b>								
軽症(坂道で息切れる)		中等症(平地で息切れる)		重症(日常動作で息切れる)				
短時間作用性β <sub>2</sub> 刺激薬または短時間作用性抗コリン薬を必要時に吸入する		長時間作用性抗コリン薬または長時間作用性β <sub>2</sub> 刺激薬を使用		長時間作用性抗コリン薬または長時間作用性β <sub>2</sub> 刺激薬を使用				
<ul style="list-style-type: none"> <li>●症状が改善しなければ長時間作用性抗コリン薬 長時間作用性β<sub>2</sub>刺激薬 を使用</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●症状が改善しなければ併用する</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●症状が改善しなければ併用、もしくは初めから併用する</li> <li>さらに改善しなければテオフィリン薬の追加検討</li> </ul>				
いずれの場合でも・・・		<ul style="list-style-type: none"> <li>●ぜん息の合併が疑われる場合はステロイド薬を併用、急な症状の悪化が年2回以上ある場合も併用を検討する</li> <li>●動く前など必要なときには短時間作用性β<sub>2</sub>刺激薬・短時間作用性抗コリン薬を吸入する</li> <li>●痰を出すことが難しいときは喀痰調整薬を使用する</li> </ul>						

※アドエア、シムビコートはCOPDにも適応しています(ぜん息の欄参照)。また、吸入ステロイド薬は単独ではCOPDには適応はありませんが、医師の判断で使用されることがあります。※「アトロベントエロゾル20μg」「テルシガンエロゾル100μg」「スピリーバ2.5μgレスピマット60吸入」はぜん息にも適応しています(COPDの欄参照)。※薬剤の写真は2015年1月時点のもので、各社のウェブサイトより許可を得て転載しています。製剤は予告なく販売中止および外観の変更がされる可能性があります。

軽症予後・管理ガイドライン2012より改題 COPD(慢性閉塞性肺疾患)診断と治療のためのガイドライン第4版より改題  
COPD診療のエッセンス 2014年版より改題